

特別企画展関連講演会のお知らせ

ドナルド・キーン・センター柏崎では、2018 年度前期特別企画展「ドナルド・キーン、倫敦に還る。～第二章『源氏物語』の芸術的な翻訳者、アーサー・ウェーリとの邂逅～」展(2018 年 4 月 1 日(日)～同年 8 月 12 日(日))にあわせ、電気通信大学教授、日本文学研究者でいらっしゃる島内景二先生をお招きして、下記のとおり講演会を開催いたします。

記

開催日時 2018年(平成30年)6月23日(土) 14時00分～16時00分(開場13時30分)
会場 ブルボン統合研修センター大ホール
(ドナルド・キーン・センター柏崎隣接 当センター詳細は下記をご参照ください)

演 題 「今、なぜ、『源氏物語』なのか」
21世紀の現代人が『源氏物語』を読む意義はどこにあるのかということを中心に、アーサー・ウェーリとドナルド・キーンが私たちにもたらしてくれた彼らの功績についてお話しくださいます。

受講料 500円(当日受付にて頂戴いたします。)
※当館の見学料込みとなります。見学の際には、当日お渡しする半券をご提示下さい。

定員 80名(要予約。お電話にてお申し込みください。先着順とさせていただきます。)
主催 公益財団法人ブルボン吉田記念財団 (ドナルド・キーン・センター柏崎)

講師 島内景二氏



プロフィール

1955年(昭和30)長崎県生まれ。電気通信大学教授、日本文学研究者、文芸評論家、歌人。東京大学文学部卒業。国文学を『源氏物語』の研究で知られる秋山虔に、短歌を前衛短歌へ牽引した塚本邦雄に師事。『源氏物語の影響史』(笠間書院)により博士(文学)取得(東京大学)。『源氏物語ものがたり』(新潮新書)をはじめ『源氏物語』関連の著書を発表。また評伝『三島由紀夫』(ミネルヴァ書房)や、歌集『夢の遺伝子』(短歌研究社)、乙川優三郎『露の玉垣』(新潮文庫)など歴史時代小説の文庫解説も多数執筆。

以上

<お申し込み・お問い合わせ先>

ドナルド・キーン・センター柏崎

〒945-0063 新潟県柏崎市諏訪町 10-17 TEL0257-28-5755

受付時間 10時～17時 (月・火曜休館、祝日・振替休日の場合は、その翌日が休館日)

※定員になり次第、受付は終了させていただきます。ご了承ください。